

関越自動車道高架下活用施設建設懇談会
第二回 全体会 会議要旨

1 開催日時

平成26年3月24日(月) 午後6時30分～午後7時15分

2 開催場所

練馬区立大泉町地域集会所 1階 集会室

3 出席者

(1) 委員(出席委員 33名)

大島光昭、大湊正男、長井正夫、中村和子、鈴木洋子、西和彦、野崎延江、面来光子、山崎裕康、伊藤義夫、内田民子、城崎真、新木繁男、宇山義郎、國分裕子、石川正子、内田常幸、小園静子、志村雅、茨田忍、飯泉喜代美、稲木祐二、川口陽子、丹野真由美、中島純子、加藤信昭、鈴木真由美、須藤彰、大山健、木寅典恵、鈴木ひろ子、野崎信子、山岸康世

(欠席委員 6名)

(2) 区等

企画部長、福祉部長、環境部長、地域文化部長、企画課長、高齢社会対策課長、清掃リサイクル課長、地域振興課長、施設管理課長、事務局、設計事務所(株)I N A 新建築研究所)

4 傍聴者

3名

5 議 題

(1) 検討内容の報告について

(2) 今後の予定について

(3) その他

6 配布資料

資料1 関越自動車道高架下活用施設建設懇談会の開催状況について

資料2 関越自動車道高架下活用施設建設懇談会における検討のまとめ

資料2 - 1 高齢者センター部会

資料2 - 2 リサイクルセンター部会

資料2 - 3 スポーツ関連スペース部会

資料2 - 4 地域交流スペース・倉庫部会

7 会議要旨

(事務局)

只今より「関越自動車道高架下活用施設建設懇談会 第二回全体会」を始めさせていただきます。まず、開会にあたりまして、全体会の座長を務めております、練馬区企画部長よりご挨拶申し上げます。

(企画部長)

本日は大変お忙しい中、また、夜間にお集まりくださいまして感謝申し上げます。会場も狭く恐縮ですが、よろしく願いいたします。

日頃から練馬区政に様々な場面でご協力、ご理解をいただきまして、厚く御礼申し上げます。また、委員の皆様にご委嘱をいたしました志村豊志郎練馬区長が、去る2月23日に急逝されました。生前のご厚誼に改めて感謝を申し上げますとともに、今後も区政へのご協力を改めてお願い申し上げます。

本日の会でございますが、各4専門部会での検討結果につきまして、それぞれ部会長から報告いただいたうえで、委員の皆様の間でこれを共有していただき、疑問に思われることや一層工夫すべき内容につきまして、皆様からご意見を頂戴し、懇談会としての最終的な取りまとめを行ってまいりたいと思っております。

昨年5月から検討をお願いしてまいりましたが、それぞれの部会では、現場をご覧いただいたり、また、施設見学に赴いたり、これまで大変ご熱心にご議論いただいていたと承っております。

本日はその集大成ということになります。大変限られた時間ではございますが、どうぞ忌憚のないご意見を頂戴しながら、会としてのまとめを行っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

案 件

(1) 検討内容の報告について

資料1 関越自動車道高架下活用施設建設懇談会の開催状況について(説明者:事務局)

懇談会の開催状況につきまして、全体会については昨年5月27日に第一回を開催し、本日が第二回です。各部会については4回ないし5回の部会を開催し、委員の皆様にご議論いただきました。

資料2 関越自動車道高架下活用施設建設懇談会における検討のまとめ

資料2-1 高齢者センター部会(説明者:福祉部長)

施設概要の説明

高齢者センター部会では、豊玉高齢者センターの見学を行い、施設の概要を委員にご覧いただき、そのうえで内容の検討をしてまいりました。

大泉学園通りに近い部分に、施設の案内表示についてご要望をいただきました。
当初は喫茶と展示スペースは別の扱いにしていたましたが、一体化させて、お茶をいただきながら、作品等の鑑賞をしていただくようにいたしました。
また、当初は娯楽室を西棟に、パソコンコーナーを東棟に設置しておりましたが、両者を入れ替えることにより、東棟にも賑わいや活発な活動を作り出しました。
東棟から中央棟への通路は 1/12 の勾配でしたが、建物内でも傾斜部分を取ることで、より緩やかな斜面にいたしました。

資料 2 - 2 リサイクルセンター部会（説明者：環境部長）

施設概要の説明

リサイクルセンター部会は、現地の見学、春日町リサイクルセンターの見学を含めて 4 回開催し、活発なご意見をいただきました。

意見は主に 3 点あり、1 点目は既存リサイクルセンター 3 館よりも、できるだけ広いスペースを確保したいということです。

2 点目は、展示室やリサイクル工房等については、南側から中が見えるような設計にしたいということです。

3 点目は、環境学習のための設備を設けたいということで、足踏み発電や、太陽光発電外灯を設置することといたしました。

資料 2 - 3 スポーツ関連スペース部会（説明者：地域文化部長）

施設概要の説明

スポーツ関連スペースの管理につきましては、地域の皆様方とご相談させていただき、管理運営委員会を設置して運営させていただくことを、部会でもご了承いただいております。

部会では、高架下の限られたスペースを有効に使うために橋脚との間にベンチを置けるようにしてほしい、フットサルやバスケットだけでなく多目的に利用できるようにしてほしい、団体利用がない場合には一般開放やキャッチボールができるようにしてほしいというご意見をいただいております、運用の中で行ってまいりたいと考えております。

騒音対策として、南面と北面は防音設備の設置を考えております。

車いす利用者に対しても、配慮しております。

資料 2 - 4 地域交流スペース・倉庫部会（説明者：地域文化部長）

施設概要の説明

総括的には、防犯や交通安全といった観点で、倉庫を建設するにあたり、子どもたちの安全が確保できることが、非常に大きなテーマであったように考えております。建物によって死角ができたり、不審者が隠れたりすることがないようにするといった観点で、ご意見を非常に多くいただきました。

また、これを機に明るくしてほしいということで、照明等にも配慮いたしました。
緑化との関係については、死角をできるだけ無くすよう、緑被率は確保しつつも壁面緑化をしないで、ネットフェンスとさせていただきます。

管理については、スポーツ関連スペースと同じ管理運営委員会が行うということで、部会でご了解をいただきましたので、今後、地域の皆様とお話をさせていただければと考えております。

全体に関すること（説明者：企画課長）

各施設の南側には歩行空間を設けております。場所によって差異はありますが、概ね2m程度の歩行空間を全区間に渡って整備いたします。

高齢者センターやリサイクルセンターの図面をご覧くださいますと、ベンチやテーブル・イスが表示されておりますが、歩行される方が途中で休憩していただけるよう設置していきたいと考えております。

歩行空間の材質につきましては、ウッドデッキの場合は後々段差が出来たりすることもあるので、現時点ではカラーアスファルト舗装を想定しております。

歩行空間の南側につきましては、車道との間に概ね2m程度の植栽を設け、車道からの見通しを確保して歩行者の位置も確認できるよう、基本的には中木や低木を考えております。

各区画の歩行空間を繋ぐ形で、横断歩道を全区間に渡って整備することを警察と協議しております。

各施設の入口部分に、側道を渡るための横断歩道の設置を警察とご相談いたしましたが、かえって車の流れを遮断してより危険ではないかとのことで、現時点では側道を渡る新たな横断歩道の設置はできないと判断いたしました。

地域住民の方から、また、懇談会の中でも、新たな信号機の設置のご希望がありましたが、今後施設が開設されて状況の変化があれば協議に応じるが、現時点では設置基準に該当しないため困難であると警察から回答をいただきました。

高齢者センター部会での説明にもありましたが、大泉学園通りから活用区間に入るところは全体の入口にあたるスペースなので、相応しいゲートや全体の案内になるようなものが必要ではないかというご要望をいただきました。また、大泉学園がアニメの街という特徴から、何かしらアニメに関係するデザイン性のあるものを検討してはどうかというご意見もいただきました。このことにつきましては、引き続き検討していきたいと考えております。

施設の外観の部分につきましては、これから実施設計で詳細に詰めていくということになるかと考えております。

（事務局）

ご意見やご質問等はございますでしょうか。

(委員)

倉庫は誰が使うのでしょうか。何を入れるのでしょうか。

(地域振興課長)

基本的には町会・自治会がお持ちのイスやテーブル、防災備品、また、現在ご要望があるのは公の活動をされている商店街やボーイスカウトなどであり、どこまでの利用をしていただくかについては今後詰めてまいります。町会・自治会にアンケートを取った結果では、20を超える団体の要望があります。利用方法で多くの要望があれば、一つの倉庫を共有で使っていただくなどの工夫はしていきたいと思っております。

(委員)

11月に行われた懇談会の中では、運営については地域の中で行うということで、私達も賛成させていただきましたが、その運営委員会はどのような形で開かれるのでしょうか。

(地域文化部長)

これから方針を決めていかなければならないのですが、地域の隣接している町会・自治会の皆様方とお話をさせていただいて、どこまでの方々に運営を担っていただくか望ましい形をご相談し、また、地域の皆様方からご意見を頂戴し、何度かキャッチボールをしていく中で、詰めていきたいと思っております。

(委員)

私達も、区内の体育館を拠点に地域のスポーツ活動をしていくということで、行政の指導のもとに行っております。それぞれの地域の中でスポーツ活動を行っているわけですが、私も是非この運営委員会に地域の活動ということで参加させていただきたいと思っております。

また、過去におきまして、大泉学園高校が廃校になった後の利用について、当時のスポーツ振興課長からお声掛けをいただき、ゼロから整備し、約6年間関わらせていただきました。

しかし、希望が丘公園運動場が出来上がった際、地域の中で運営委員会を組織し決めていくという話がありましたが、一言もお話が無いまま決まっていた経緯がございます。

ぜひ、そのようなことが無いようにお願いいたします。

(地域文化部長)

先ほど申し上げましたとおり、地域の町会・自治会の方々にお話させていただいて、頂戴したご意見についてもお伝えしていきたいと思っております。

(委員)

資料2-2のリサイクルセンターで太陽光発電外灯がついておりますが、高齢者センターにもつけられるとよいと思っております。

(企画課長)

リサイクルセンターにつきましては環境学習の施設ということで様々な設備が考えられているところでございます。街灯につきましては全区間に整備いたしますが、どのようなものを設置することで費用対効果が図れるのかという点から、只今いただいたご意見も踏まえて検討させていただければと考えております。

(委員)

全体計画についてお願いがあります。プロムナードのウッドデッキが難しいというのは残念ですが理解できましたが、それに代わるのがカラーアスファルトというのはいかななものかという感じがします。ここは全体の中で大変目立つところですから、カラーアスファルトよりも程度の良いものを、全体予算の中でご配慮いただければと思います。

(施設管理課長)

プロムナードにつきましては距離が長く、警察協議の中で歩行者の方への安全性を配慮するようにと話がありました。ウッドデッキの場合は凹凸となる可能性もあり取り止めた経緯がございます。

カラーアスファルト舗装を考えておりますが、別のものが考えられるかどうか検討してまいりたいと思います。

(企画課長)

委員からご指摘いただきました通り、やはり全体をつなぐ空間ということで大変重要な場所だと思っております。出来るだけコストを抑えつつ相応しいデザイン性、利便性を備えたもので工夫できることを今後考えていきたいと思っております。

(委員)

高齢者の具合が悪くなった時の救護施設のようなものは配置していないのですか。

(高齢社会対策課長)

高齢者センターは社会福祉法人が運営する前提ですので、高齢者の方が急に具合が悪くなったときには、福祉の専門職員が適切に対応いたします。

(委員)

ウッドデッキをやめたというお話ですが、滑り止めのついたタイルなど、予算の関係も踏まえて検討させていただければと思います。見た目も良く、高齢者にも優しいと思います。アスファルトと聞くだけで残念に思われます。

(施設管理課長)

雨が降ったときに滑らない材質を考えています。コストを踏まえて、デザイン性も配慮して検討していきます。

(委員)

立派なものが出来ますので、特定の人達が使すぎないような、誰でも使えるような施設にしていきたい。

(高齢社会対策課長)

只今いただいたご指摘を充分踏まえまして、皆様に気持ちよくご利用いただけるような運営をこれから考えていきたいと思えます。

(委員)

倉庫でも長く使われる方がいて、他の人が借りられないということが無い様に、点検などを上手くして欲しいのですが。

(地域振興課長)

倉庫についても、先程申し上げたとおり、ルールをきちんと作りまして、皆様平等にお使いいただけるような中身を工夫してまいりたいと思えます。

(委員)

この高架下施設を進めるにあたって、それぞれ機能が違うので、部会に分かれて話し合いを進めたわけですが、出来上がってご説明いただくと全体的な統一が無くて、部会ごとの建物になっている印象を受けました。

表から見たときに一体の高架下施設として見えるようにするのか、部会ごとで別個に考えていくのか。全体的な統一感は非常に重要なことであり、先程のデッキの件もその一つであると思えます。全体としての意匠デザイン、素材感、区としてどなたがその辺りを進めて行かれるのかお聞きしたい。

(施設管理課長)

区は施設管理課が担当しております。

南側のプロムナードの床の仕上げ、街路灯を統一するなど、全体的な統一性を図ってまいります。高齢者センターとリサイクルセンターにつきましては、外壁の仕様を同じものと考えております。スポーツ関連スペースなどは、南側のプロムナードの統一性や、ひろばなど、外周りを統一性のある仕様を考えております。

(福祉部長)

部会では、委員から、高架下の空間というのが殺風景な空間で、非常に残念に思ってお

り、それが今回こういった形で活用、整備されることによって地域の中で明るい未来を感じられるような空間になることを期待されるといったご意見をいただいております。

やはり整備するにあたっては新たな地域の中でのシンボルに出来るようなものを作っていくというのが私達の役割だと思いますので、ご意見を踏まえて整備してまいりたいと思います。

(事務局)

他にご意見やご質問等はございますでしょうか。

(発言なし)

(2) 今後の予定について

資料1 関越自動車道高架下活用施設建設懇談会の開催状況について 「4 今後の予定」(説明者：企画課長)

懇談会の検討結果やご意見を踏まえまして、区で取りまとめる平成25年度の検討内容につきまして、今後区議会にもご報告し、来年度になりますが、5月に住民説明会を開催させていただければと考えております。現在のところ、5月10日土曜日に大泉北小学校の体育館をお借りできればということで進めているところでございます。そういった場で、様々ご意見をいただいたうえで、区的设计案の最終的な取りまとめを行い、高速道路の保有者に対し、道路の占用を許可いただきたいという申請を行う予定でございます。

私共といたしましては、懇談会における議論を尊重しつつ、また地域の皆様のご意見を伺いながら、先のステップに行ければと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

(事務局)

只今の説明に対しまして、ご意見やご質問等はございますでしょうか。

(委員)

私達が自慢できるような、高架下で作ってよかったというものを作って欲しい。これから一番見本になるのではないかと思います。

(3) その他

(事務局)

それでは最後に「その他」でございりますが、全体を通しまして、何かご意見やご質問があれば承りたいと思いますが、いかがでしょうか。

(発言なし)

(事務局)

それでは以上で案件は全て終了いたしました。閉会にあたりまして企画部長よりご挨拶申し上げます。

(企画部長)

昨年5月からこの検討を皆様にご協力いただきまして、これまで10ヶ月間、先程ご報告にありましており、非常に多くのご意見を皆様方から頂戴したおかげで、今日のご報告できるような中身の設計図がようやく出来上がってきたかなと考えております。

本日いただいたご意見も踏まえまして、今後新しい区長の判断も受けながら、区としての施設整備の考え方というものを改めて案としてまとめていきたいと考えてございます。5月には住民の方々へ説明をしていきたいと思っておりますが、この施設整備につきましては様々なご心配やご懸念を示されている方もいらっしゃいます。そうした方々にもしっかりと丁寧な説明というのが我々には必要であろうと思っております。

いずれにいたしましても、大泉地域のまちづくりそのものに直結する大変大きなプロジェクトだろと思っております。これまでの間、皆様にご協力いただけてまいりましたが、引き続き様々な場面でご助言を賜るといこともあろうかと思っております。

整備するまでにはまだいくつかのステップがございます。実際の工事が始まるまでもまだ時間があるかと思いますが、とにかく先程のお話にもございました、百年の計になるような、作ってよかったな、いいものができたなといって喜んでいただけるような施設整備に向けて、私ども力を尽くしてまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしくご指導ご鞭撻を頂きたいと思っております。

今回で懇談会での検討は終わりますが、引き続きのご理解ご協力をお願い申し上げます、この会を閉じさせていただきたいと思っております。どうも長期間ありがとうございました。

(事務局)

以上で、第二回全体会を終了いたします。ありがとうございました。